

平成26年度

大阪市こころの健康センター 所 報

大阪市こころの健康センター

はじめに

平成 26 年度大阪市こころの健康センター所報の刊行に際しまして、ご挨拶申し上げます。

平成 26 年度に入ったばかりの 4 月 1 日に、改正精神保健福祉法が施行されました。主な改正点は、1) 保護者制度の廃止、2) 医療保護入院制度の見直し(家族等による同意制度、病院における退院促進体制整備の義務付け)、3) 精神医療審査会の見直し、となっています。新制度においては、市長同意による医療保護入院の実施に課題が残るものの、医療機関および関係諸機関のご尽力のおかげで、概ねスムーズな導入が行われたと考えています。

同年 6 月にはアルコール健康障害対策基本法(以下、「基本法」)が施行されました。基本法は、「アルコール健康障害」すなわち、アルコール依存症その他の多量の飲酒、未成年者の飲酒、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒の影響による心身の健康障害への対策に関して、基本理念を定め、国・地方公共団体等の責務を明らかにすることなどにより、総合的かつ計画的な対策を推進し、日常生活および社会生活の改善につなげることを目的としています。基本法はすでに施行され 1 年以上が経過していますが、国が策定することとされている対策推進基本計画がいまだ準備中であることもあり、その周知は必ずしも広がっていないとの印象を受けます。とはいえ、現在、関係者会議で国の基本計画についての議論が行われており、国の計画が策定されるとそれに続いて各都道府県でも計画が準備され、今後対策が強化されることが期待されます。本市におけるアルコール健康問題に関連する現在の事業としては、各区における個別相談(精神保健福祉相談) 12 か所の区保健福祉センターにおける「酒害教室」の実施、市民を対象にした講演会、関係機関職員に対する研修会などを行っています(本報告書の本文参照)。

相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に、精神科救急医療の利用などについて、電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を、平成 14 年より大阪府・堺市と共同で実施していますが、こちらの名称が平成 26 年 9 月 9 日より「おおさか精神科救急ダイヤル」と名称変更されました。事業内容には、大きな変更はありません。

今後とも、ご支援、ご指導の程お願い申し上げます。

平成 27 年 11 月

大阪市こころの健康センター
所長 田中政宏

目 次

第1 概 要

1 施設の概要 -----	1
(1) 開設 -----	1
(2) 所在地 -----	1
(3) 延べ床面積 -----	1
(4) 平面図 -----	1
2 組織・職員 -----	2
(1) 組織 -----	2
(2) 職員 -----	2
3 予算・決算 -----	3

第2 事業実績

1 精神保健福祉センター業務 -----	6
(1) 技術指導及び技術援助 -----	6
(2) 教育研修 -----	6
ア 精神保健福祉関係職員研修 -----	6
(ア) 新任研修 -----	6
(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修 -----	8
(ウ) 現任研修(全体研修) -----	8
(エ) 現任研修(課題別研修) -----	8
(オ) 現任研修(ブロック別研修) -----	10
(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修 -----	11
(キ) 思春期関連問題支援者向け研修 -----	11
(ク) 薬物関連問題従事者研修(「薬物乱用防止に関わる教職員研修」) -----	12
(ケ) ゲートキーパー専門研修 -----	12
(コ) ゲートキーパー専門研修(危機介入編) -----	12
(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修 -----	13
(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会 -----	13

イ	精神保健福祉関係 人材養成研修 -----	14
	(ア) 現任研修 全体研修 と合同で実施 -----	14
	(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業 -----	14
ウ	大阪府・市合同 精神保健福祉業務従事者研修 -----	15
(3)	普及啓発 -----	15
ア	こころの健康講座 -----	15
イ	こころのボランティア講座 -----	15
ウ	ひきこもり市民講座 -----	16
エ	思春期関連問題市民講座 -----	16
オ	薬物関連問題講座及びイベント -----	16
(4)	調査研究 -----	17
(5)	技術支援 -----	18
ア	関係機関への一般相談 -----	18
イ	でかけるチーム精神保健相談 -----	19
ウ	個別支援 -----	20
(6)	精神保健福祉相談 -----	21
ア	思春期関連問題相談 -----	21
イ	薬物関連問題相談 -----	22
ウ	こころの悩み電話相談 -----	23
(7)	自殺防止対策事業 -----	24
ア	自死遺族相談 -----	24
イ	自殺未遂者相談支援事業 -----	24
ウ	ゲートキーパーの養成 -----	25
エ	自殺予防週間の取り組み -----	25
オ	自殺対策強化月間の取り組み -----	25
カ	うつ病予防の普及啓発 -----	26
キ	うつ病の家族教室(フォローアップ編) -----	26
ク	大阪市自殺対策検討連絡会議 -----	26
(8)	ひきこもり相談窓口事業 -----	27
ア	ひきこもり電話相談件数 -----	27
イ	ひきこもり面接相談件数 -----	28
ウ	ひきこもり訪問支援件数 -----	29

(9)	薬物依存症者等ケア強化事業	30
	ア 家族心理教育事業	30
	イ 関係機関職員専門研修事業	30
(10)	組織の育成	31
(11)	精神医療審査会	31
	ア 開催状況	31
	イ 入院届・定期病状報告の審査状況	31
	ウ 退院・処遇改善請求の審査状況	31
	エ 実施審査状況	32
(12)	大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営	32
2	精神保健福祉主管課業務	33
(1)	精神保健福祉審議会の運営	33
	ア 自殺防止対策部会	33
(2)	措置・緊急措置診察（入院）業務	33
	ア 措置診察	33
	イ 緊急措置診察	34
(3)	医療保護入院等の移送事業	34
(4)	精神障がい者保健福祉手帳の交付	35
	ア 市営交通料金福祉措置	35
(5)	自立支援医療費（精神通院）の支給認定	35
(6)	精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	35
	ア 地域移行支援の実施状況	36
	イ ピアサポーターによる啓発活動	36
	ウ ピアサポーター交流会	38
	エ ピアサポーター養成講座	38
	オ 技術支援・コーディネート	39
	カ 相談支援事業所への研修	39
	キ 地域生活移行支援会議	39
	ク 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議におけるワーキング グループ会議	40
	ケ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会	40
(7)	心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業	40

ア	平成 26 年度医療観察法対象者および支援状況-----	41
イ	医療観察法関係研修-----	41
(8)	精神科救急医療体制整備事業-----	41
ア	こころの救急相談の設置（電話相談）-----	41
イ	精神科救急医療情報センターの設置-----	42
ウ	一次救急医療体制の整備-----	42
エ	二次救急医療体制の整備-----	43
オ	身体合併症治療体制の確保-----	43
(9)	精神保健福祉に関する予算・決算業務-----	45

第3 資料

1	大阪市精神保健福祉審議会 開催内容-----	47
2	精神医療審査会-----	51
(1)	運営状況-----	51
(2)	実地審査状況-----	52
3	措置（緊急措置）診察・入院状況-----	53
4	精神障がい者保健福祉手帳交付状況-----	54
5	精神障がい者保健福祉手帳所持者数-----	55
6	自立支援医療費（精神通院）受給者数状況-----	55
7	自立支援医療費（精神通院）受給者数-----	55
8	保健福祉センターにおける相談指導の状況-----	56
9	保健福祉センターにおける一般クリニックの状況-----	57
10	保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況-----	58

第 1 概 要

1 施設の概要

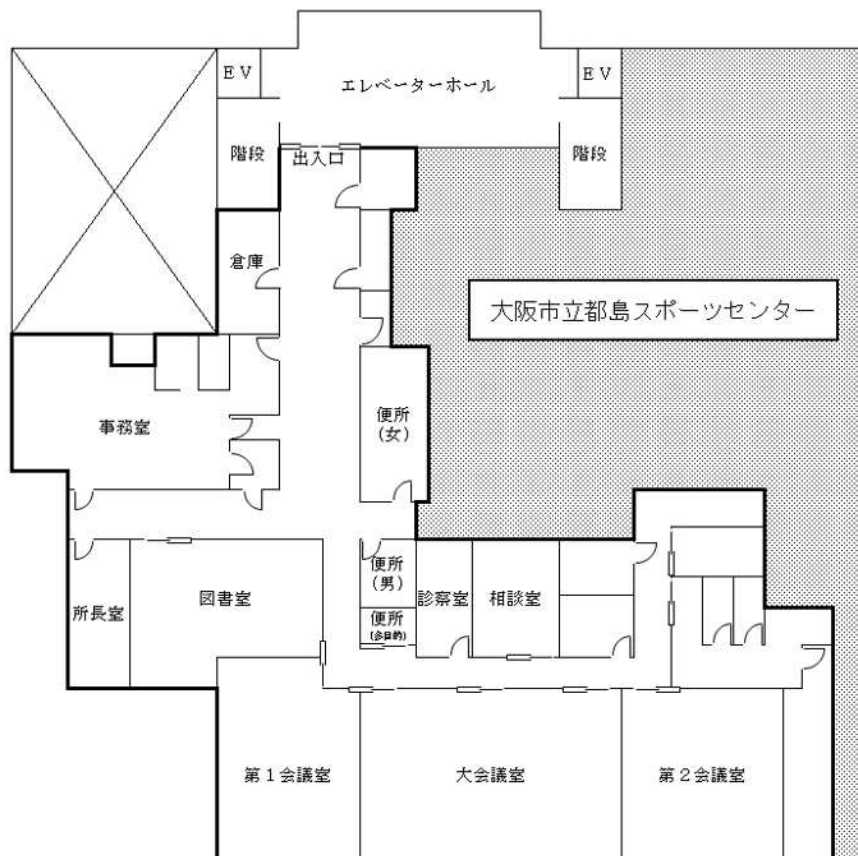
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



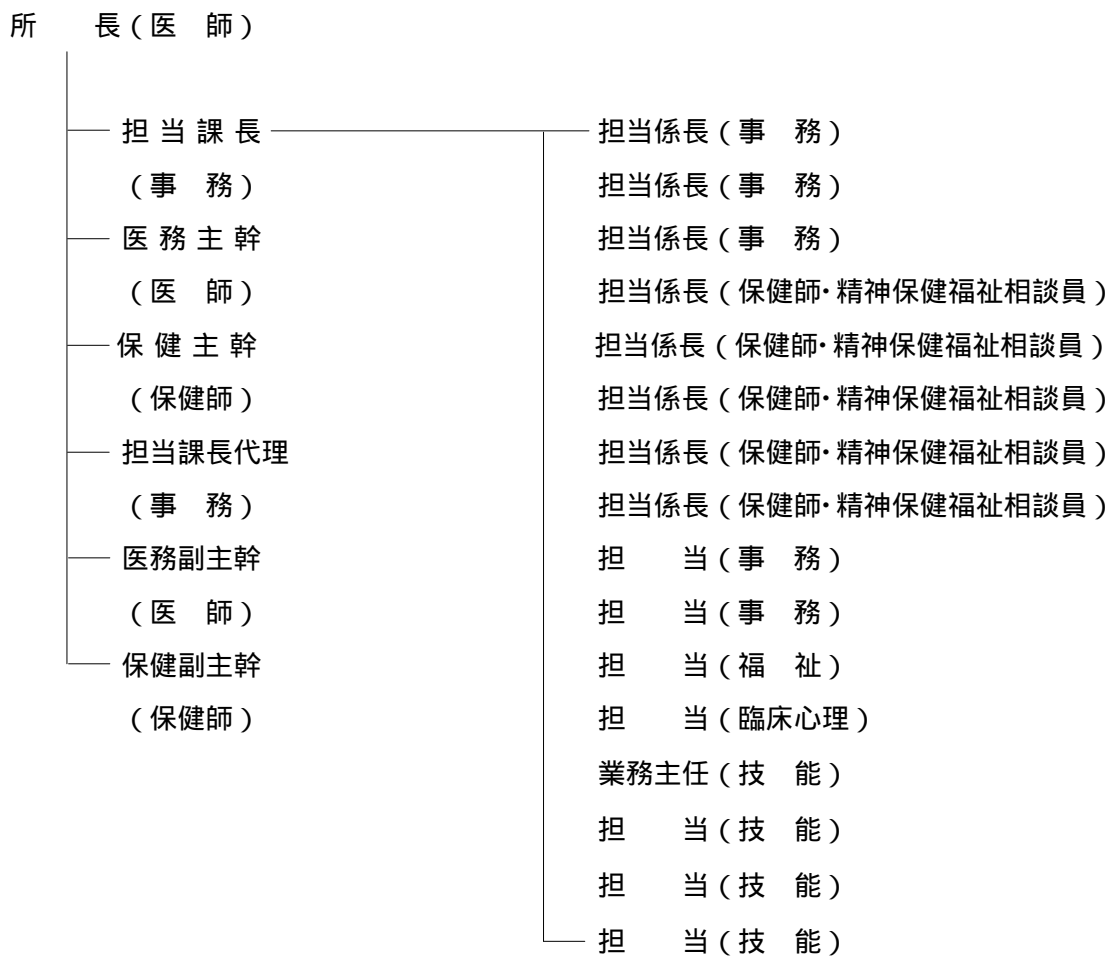
(3) 延べ床面積 992.75m²

(4) 平面図



2 組織・職員（平成26年5月1日現在）

(1) 組織



(2) 職員

	事 務	福 祉	臨 心 床 理	医 師	保 健 師	技 能	計	精神保健福祉相談員 (再 掲)	
								保 健 師	福 祉
人 数	7	1	1	3	7	4	23	5	0

3 予算・決算

(1) 歳入

(単位：千円)

事 項	平成27年度予算	平成26年度決算
第1部	5,158,534	4,686,257
使用料	1,021	661
でかけるチーム精神保健相談事業（診療報酬）	32	0
精神科救急医療体制の整備事業（診療報酬）	989	661
手数料	15	1
こころの健康センター管理運営費（診断書料）	15	1
国庫負担金	5,080,987	4,614,024
精神障がい者通院医療費	4,952,884	4,513,034
措置・緊急措置診察及び入院事業	4,580	4,607
措置入院費公費負担事業	123,523	96,383
国庫補助金	71,943	64,860
こころの健康センター管理運営費	771	733
精神保健福祉普及啓発事業	25	40
思春期関連問題相談事業	237	255
薬物乱用防止対策事業	257	170
でかけるチーム精神保健相談事業	8	8
ひきこもり相談窓口事業	1,829	1,463
自殺防止対策事業	201	146
精神科救急医療体制の整備事業	42,657	33,217
措置・緊急措置診察及び入院事業	25,474	28,465
医療保護入院等のための移送事業	147	147
精神医療適正化事業	-	24
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	337	-
精神保健福祉・社会復帰相談事業	-	192
府補助金	4,545	3,754
自殺防止対策事業	4,545	3,754
雑入	23	2,957
市営交通料金福祉措置（広告料収入）	23	20
精神障がい者通院医療費（医療費返還金等）	-	2,932
こころの健康センター管理運営費（紙類売払等）	-	5
第2部	32,521	948
国庫補助金	32,521	948
マイナンバー制度にかかる総合福祉システムの改修経費	32,521	-
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	-	948
計	5,191,055	4,687,205

(2) 歳出

(単位：千円)

事 項	平成27年度予算	平成26年度決算
第1部	11,071,562	10,073,893
健康総務費	36,771	31,094
総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費	36,771	31,094
保健医療費	11,034,791	10,042,799
精神障がい者通院医療費	10,002,096	9,118,085
こころの健康センター管理運営費	16,689	14,073
精神保健福祉従事職員研修	1,072	875
精神保健福祉審議会費	245	185
精神保健福祉普及啓発事業	920	479
思春期関連問題相談事業	710	667
薬物乱用防止対策事業	1,068	763
でかけるチーム精神保健相談事業	24	13
ひきこもり相談窓口事業	3,657	2,928
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	26,885	26,255
自殺防止対策事業	4,946	4,028
薬物依存症者等ケア強化事業	3,356	506
市長入院同意患者面接事業	414	265
精神科救急医療体制の整備事業	110,953	84,519
措置・緊急措置診察及び入院事業	78,630	79,350
措置入院費公費負担事業	164,756	170,407
精神医療適正化事業	5,093	5,076
心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業	128	105
精神障がい者保健福祉手帳交付事業	2,233	1,574
市営交通料金福祉措置	610,241	532,646
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	675	-
第2部	39,948	162,534
保健衛生施設整備費	39,948	162,534
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	282	58
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	227	3,655
マイナンバー制度にかかる総合福祉システムの改修経費	39,439	-
総合福祉システム（福祉五法システム）再構築関連経費	-	158,821
計	11,111,510	10,236,427

第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

1 精神保健福祉センター業務

(1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

関係機関への技術援助（講師派遣）

保健福祉センターや関係機関等からの依頼に対し、講師の派遣を行った。

年月日	依頼元	対象者	内容	参加者数
26.4.18	近畿管区警察局情報通信部	新任課長補佐等中級幹部	職場のメンタルヘルス	46名
26.4.24	近畿管区警察局情報通信部	新任課長補佐等中級幹部	職場のメンタルヘルス	35名
26.10.2	近畿公安調査局	管理監督者	職場のメンタルヘルス	36名
26.12.19	近畿管区警察局情報通信部	昇任予定者	職場のメンタルヘルス	41名

(2) 教育研修

ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

(ア) 新任研修

年月日	講義内容	講師	参加者数
26.4.17	月報について(1)	こころの健康センター 担当係長 合 田 恵 子	14名
	精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長 松 本 孝 博	
	精神保健福祉相談・社会復帰相談指導事業等の事務手続きについて	こころの健康センター 係員 山 岡 卓	

	保護申請（22条）警察官通報（23条） 移送制度（34条） 市長同意事務手続き 救急医療システム	こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子 細 山 博 文	13名
	自立支援医療・精神障がい者福祉手帳 について	こころの健康センター 担当係長 安 田 美登里	
	心神喪失者医療観察法について 精神障がい者地域移行支援について	こころの健康センター 保健副主幹 松 本 直 美	
	保健福祉センターにおける業務（相 談・社会復帰相談指導事業・家族教室 等）	こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子	
26.4.23	思春期相談 ひきこもり相談 自死遺族相談 SST等について	こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	10名
	地域精神保健福祉活動について（就労 支援について）	こころの健康センター 保健主幹 熊 谷 由喜子	
	自殺対策について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長代理 村 中 康 一	
	自殺未遂者相談支援事業	こころの健康センター 担当係長 山 内 幸 織	
	精神医療適正化医療	こころの健康センター 担当係長 合 田 恵 子	
	こころの健康センターにおける精神 保健福祉業務の実際について（でかけ るチーム・電話相談・技術支援など）	こころの健康センター 担当係長 金 森 かずみ	
	薬物相談について	こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	
26.4.25	統合失調症・うつ病を中心に障がいと 疾患について 通報における自傷他害性について	こころの健康センター 所長 以 倉 康 充	12名
	月報について(2)	こころの健康センター 担当係長 合 田 恵 子	
	新任研修を終えて		

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

年月日	講義内容	講師	参加者数
26.11.12	アルコール関連問題のアセスメントと介入の方法について	こころの健康センター 保健士幹 熊谷 由喜子	4名
	各区精神保健福祉関連業務の現状と課題及び今後の方策	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	
26.11.26	ケアマネジメント実践におけるアセスメントの意義と方法 ～事例を交えて～	こころの健康センター 担当係長 山内 幸織	4名
	事例検討	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	

(ウ) 現任研修(全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

年月日	講義内容	講師	参加者数
26. 9.24	災害時のこころのケア	兵庫県こころのケアセンター 所長 加藤 寛	39名
26.10.17	精神障がい者の権利擁護	関西大学 人間健康学部 教授 黒田 研二	41名
26.12.16	電話相談における技術 ～傾聴と危機介入～	関西福祉科学大学 社会福祉学部 准教授 都村 尚子	42名
27. 1.29	社会性という観点から 心の病気について考える	京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学) 教授 村井 俊哉	58名
27. 2.23	ギャンブル依存症の理解と対応 ～回復に必要なこと および ギャンブル産業側の予防の責任～	大谷大学 文学部 社会学科 教授 滝口 直子	57名

(エ) 現任研修(課題別研修)[対象 精神保健福祉相談員]

A グループワークグループ

研修テーマ: グループワークの円滑な運営方法を学ぶ

年月日	講義内容	講師
26. 7.18	各区グループワークの現状と課題の抽出	
26. 8.15	グループワークの意義と支援技術について	桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 栄 セツコ

26.10.30	グループワークの課題について支援方法の検証	
26.12.24	グループワークの今後のあり方について	桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 栄 セツコ
27. 1.16	グループワークのまとめ	

B 家族教室グループ

研修テーマ：ニーズに応じた家族教室の効果的な運営について考える

年月日	講義内容	講師
26. 7. 3	24・25年度を振り返り、効果的な家族教室運営のために必要な技術・知識について意見交換と課題	
26. 9. 4	現場での家族心理教育の実践	
26.10. 3	家族心理教育について 理論と実践(1)	大阪府立精神医療センター 医師 齊 藤 円
26.11. 7	家族心理教育について 実践(2) ～現場での実践を通じて～	大阪府立精神医療センター 医師 齊 藤 円
26.12. 4	効果的な家族教室についてのまとめ	

C 酒害教室グループ

研修テーマ：アルコール関連問題について、関係機関との連携や支援のあり方を考える

年月日	講義内容	講師
26. 6.30	酒害教室の現状や過去の研究等から調査の方向性を決定	
26. 7.30	行政が行う酒害教室のあり方について ～アンケート調査作成における視点・ポイントについて～	大阪市保健所医療対策課 担当係長 高 橋 峰 子
26. 8.29	行政が行う酒害教室のあり方について ～アンケート調査集約・評価・まとめ～	大阪市保健所医療対策課 担当係長 高 橋 峰 子
26.11.28	行政が行う酒害教室のあり方について ～他機関との違いを通して～	新生会病院 医師 和 気 浩 三
27. 1.16	酒害教室のあり方のまとめ	

(オ) 現任研修(ブロック別研修)[対象 精神保健福祉相談員]

A 北・西ブロック

年月日	講義内容	講師
26. 8.11	ストレングスモデルを取り入れた個別支援について	社会福祉法人みつわ会 精神保健福祉士 福岡 薫
26. 9. 3	統合失調症とその関わりについて	ほくとクリニック 医師 深尾 晃三
26.10.24	人格障がいの事例を通して学ぶ	PHメンタルクリニック 医師 姫井 昭男
26.11.10	CRAFT 家族支援について	新阿武山病院 精神保健福祉士 坂本 満

B 東・中央ブロック

年月日	講義内容	講師
26. 8.27	統合失調症の事例を通して学ぶ	高クリニック 医師 高 直義
26. 9. 8	家族支援について事例を通して学ぶ	神戸松蔭女子学院大学 教授 坂本 真佐哉
26.10.29	思春期の事例を通して学ぶ	宗こどものこころ醫院 医師 宗 大光
26.11.21	アルコール依存症への対応	小谷クリニック 医師 小谷 陣

C 南ブロック

年月日	講義内容	講師
26. 8.25	薬物依存症の理解とその対応	久米田病院 医師 狩山 博文
26.10.31	摂食障がい、リストカット、多量服薬など 困難事例への対応について	PHメンタルクリニック 医師 姫井 昭男
26.11.21	アルコール依存症の理解とその対応	新生活会院 精神保健福祉士 小仲 宏典
26.12. 2	統合失調症の理解とその対応	国分病院 医師 平岡 幸栄

(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修

保健福祉センターの新任期の保健師を対象に、実践経験を基にさらに精神障がい者の理解を深め、より専門的・具体的な生活支援や個別援助に必要な知識や技術を学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27. 1.21	オリエンテーション		15名
	講義「大阪市の精神保健福祉業務について」	こころの健康センター 担当係長 植田 高子	
	講義「アセスメントの意義と方法・社会資源の利用、地域生活支援について」	こころの健康センター 担当係長 大畑 有紀	
	精神障がい者の理解と支援～当事者の話から社会復帰への支援を学ぶ～	こころの健康センター 保健副主幹 松本 直美 ピアサポーター	
	事例検討（グループワーク） 発表・まとめ	こころの健康センター 精神保健福祉相談員 熊谷・合田・大畑	
27. 2. 6	講義「統合失調症・感情障害の疾患理解と支援について」	こころの健康センター 所長 以倉 康充	15名
	自殺未遂者相談支援について ～事例を通して考える～	こころの健康センター 担当係長 金森 かずみ	
	講義「アルコール関連問題の介入と支援について」	こころの健康センター 保健主幹 熊谷 由喜子	
	事例検討（グループワーク） 発表・まとめ	こころの健康センター 精神保健福祉相談員 熊谷・合田・大畑	

(キ) 思春期関連問題支援者向け研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師、市立学校教職員を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27. 1.20	児童思春期のトラウマの理解とケア	兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美	86名

(ク) 薬物関連問題従事者研修(「薬物乱用防止に関わる教職員研修」)

全市校園の養護教諭・保健主事を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
26. 11.12	薬物乱用防止教育について 薬物関連問題相談事業の案内	こころの健康センター 医務副主幹 蔵 重 幹 子 こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	392名

(ケ) ゲートキーパー専門研修

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材(ゲートキーパー)の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に専門研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
26.10.9	救命救急センターを有する総合病院の活動紹介 事例検討	国立病院機構 大阪医療センター 太 田 裕 子	23名
26.10.29	救命救急センターを有する総合病院の活動紹介 事例検討	大阪府立急性期・総合医療センター 谷 口 尚 子	19名

(コ) ゲートキーパー専門研修(危機介入編)

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材(ゲートキーパー)の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に危機介入の研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
26.8.26	自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会	こころの健康センター 担当係長 金 森 かずみ こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	23名
26.9.12	自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会	こころの健康センター 担当係長 合 田 恵 子 こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子	19名

(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27. 2.27	事例検討 自殺未遂者相談支援事業のおさらい 事例より学ぶこと 効果的な自殺未遂者対策とは 平成26年度上半期の事業報告より	こころの健康センター 担当係長 金 森 かずみ こころの健康センター 担当係長 植 田 高子	22名

(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
26.7.16	精神科からみたひきこもり ひきこもり相談窓口事業について ひきこもり相談について ～厚労省ガイドラインの説明を 中心に～	大阪市立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 講師 宮 脇 大 こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	25名
26.8.6	ひきこもり支援の現場より ～事例でアセスメントと支援方針 を検討するワークショップ～	NPO 法人 青少年自立支援施設 淡路プラッツ 事業統括 浅 井 紀久子 こころの健康センター 担当係長 山 内 幸 織 こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	28名
26.9.3	CRAFT によるひきこもりの家族支援	徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 境 泉 洋	36名

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

(ア) 現任研修 全体研修 と合同で実施

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
27. 1.29	社会性という観点から 心の病気について考える	京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学)教授 村 井 俊 哉	34名
27. 2.23	ギャンブル依存症の理解と対応～回復に必要なこと およびギャンブル産業側の予防の責任～	大谷大学 文学部 社会学科 教授 滝 口 直 子	39名

(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業

アルコール依存症は自殺のハイリスク群とされており、自殺防止の支援のために、医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・A A・アルコール関連作業所等及びアルコール関連問題にかかる支援者、当事者や家族を対象に、研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
26.7.25	認知症のアルコール依存症について 事例検討「認知症があり、断酒意思のない高齢男性の在宅ケアについて」	新生会病院 院長 和 気 浩 三	67名
26.9.26	A A活動紹介、体験談 事例検討「ヘルパーらが介入し生活の改善がみられるが、問題飲酒が続いているアルコール依存症の夫婦の支援について」	A Aメンバー 新生会病院 院長 和 気 浩 三	51名
26.11.28	アルコール依存症への対応 ～内科医の立場から～ 事例検討「統合失調症の夫と共依存関係にあり、断酒できない事例の支援について」	小谷クリニック 院長 小 谷 陣	48名
27.1.30	事例検討「アルコール専門医療につなげるための、関係機関の支援の方向性について」 意見交換	新生会病院 院長 和 気 浩 三	29名

ウ 大阪府・市合同 精神保健福祉業務従事者研修

大阪府の企画する研修に、大阪市精神保健福祉関係職員への周知を行い、共同開催を行った。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
26.8.21	自死遺族相談従事者養成研修 「グリーンケアにおけるわかちあいの意義」	龍谷大学短期大学部 准教授 黒川 雅代子 国際ビフンダー 大阪自殺防止センター 理事 澤井 登志 わかちあいの会 当事者の方	28名

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
26.7.31	うつ病ってどんな病気？	つみクリニック 院長 堤 俊 仁	32名
26.8.27	よくわかるトラウマとPTSD	兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 岩 井 圭 司	45名
26.9.22	よくわかる統合失調症	大阪府立精神医療センター 総合治療科主任部長 岩 田 和 彦	83名
26.12.18	もっと知りたい、睡眠のこと	京谷クリニック 院長 京 谷 京 子	37名
27.1.15	よくわかる双極性障がい(躁うつ病)	かつもとメンタルクリニック 院長 勝 元 榮 一	65名

イ こころのボランティア講座

精神障がい者の地域生活を支援する精神保健福祉ボランティアをはじめ、精神保健分野で活動する支援者を対象に、育成支援・精神保健福祉についての普及啓発を目的に講座を開催した。なお、今年度についても「こころの健康講座」と共催した。

ウ ひきこもり市民講座

市民や学校関係者等のひきこもりへの理解を深めることを目的として、2回の市民講座を開催した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
26.11.19	ひきこもり 精神科医の視点から	大久保クリニック 院長 大久保 圭策	21名
26.12.15	ひきこもりによるソーシャル・ビジネス ～若年者中間的就労の実践紹介～	NPO法人 わかもの国際支援協会 理事 横山 泰三 NPO法人 わかもの国際支援協会 テレワーカー 竹安 一路	22名

エ 思春期関連問題市民講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

年 月 日	講座内容	講 師	参加者数
27. 2.13	思春期の発達課題 ～思春期の子どもを理解するために～	大阪市立総合医療センター 児童青年精神科 部長 飯田 信也	31名
27. 3.13	思春期の不登校、自傷行為、うつ ～周囲の大人にできること～		54名

オ 薬物関連問題講座およびイベント

覚せい剤、シンナー、危険ドラッグなどの薬物乱用防止にかかる普及啓発を目的に、高等学校の薬物乱用防止講座に講師を派遣した。

年月日	開催校	対象者	参加者数
26. 7. 16	市立桜宮高等学校	生徒・教員	829人
26. 7. 18	市立東高等学校	生徒・教員	960人
26. 9. 18	市立港南高等学校	生徒・教員	210人
26.10. 9	金蘭会中学校・高等学校	生徒・教員	253人
26.10.22	府立今宮工科高等学校	生徒・教員	300人
26.10.29	市立汎愛高等学校	生徒・教員	311人
26.11.13	市立高等学校	生徒・教員	986人
26.11.17	市立工芸高等学校	生徒・教員	720人
27. 2. 24	大阪偕星学園高等学校	生徒・教員	375人
合計	9校		4,944人

薬物乱用防止の普及啓発イベントとして「薬物乱用防止大阪大会」を開催した。覚せい剤や危険ドラッグなどの薬物のない街をつくることを目指して、人気声優をゲストに迎えて薬物乱用防止について学び、府内大学生が薬物撲滅宣言を行った。

年月日	内容	開催場所
26.11.23	薬物乱用防止大阪大会 (大阪市・大阪府・大阪府警が協力して開催)	大阪市立 西成区民センター

教育委員会と連携し、市立の幼・小・中・特別支援学校の管理職や生活指導教員・養護教諭を対象にした薬物関連問題研修会に講師を派遣した。

年月日	テーマ	対象者	参加者数
26.11.12	薬物乱用防止教職員研修会	全市幼稚園・小学校・中学校・ 高等学校・特別支援学校の養護 教諭・養護職員・保健主事	392名

(4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

平成26年度関係機関への一般相談状況

1. 相談件数 (件)		5. 相談手段 (件)		8. 相談経路 (件)	
4月	110	電話相談	1683	保健福祉センター	328
5月	251	こころに来所相談	12	支援課(生保)	1
6月	186	保健福祉センター面接	1	医療機関	30
7月	217	訪問相談	142	社会復帰施設	2
8月	93	合計	1838	教育機関	0
9月	100			社会福祉施設	0
10月	149	6. 相談業務従事者 (人)		老人保健施設	0
11月	156	医師	0	児童福祉施設	1
12月	121	P S W	1805	関係団体	1374
1月	114	心理職員	21	その他	102
2月	164	事務職員	0	合計	1838
3月	177	その他	11		
合計	1838	医師・心理職	0	9. 相談種別 (件)	
		医師・心理職・PSW	0	老人保健	4
		医師・PSW	1	社会復帰	144
		心理職・PSW	0	アルコール	30
		合計	1838	病気に関する問題	1396
				心の健康づくり	15
2. 新規・再相談の別 (件)		7. 相談内容 (件)		薬物関連問題	29
新規相談	501	治療に関して	27	思春期問題	9
今年度新規相談	54	医療機関紹介	7	うつ・うつ状態	5
今年度再相談	1283	情報に関して	14	DVに関して	0
合計	1838	でかける相談	12	ギャンブル	0
		医療・手帳関係	0	ひきこもり	10
		通報関係	1456	自殺関連	3
		制度の問題	21	犯罪被害	0
		近隣トラブル	6	災害	0
		本人への対応	279	発達障がい	10
		その他	16	その他	183
		合計	1838	合計	1838
3. 対象者の性別 (人)				10. 援助の方法 (件)	
男性	1217			所内カンファレンス	0
女性	611			地域・外部カンファレンス	136
不明	10			地域支援会議等参加	0
合計	1838			相談員等に個別支援	134
				GW・教室等支援	5
				関係機関紹介	6
				情報提供	13
				助言	1437
				その他	107
				合計	1838
4. 年齢別 (人)					
10歳未満	2				
10歳～12歳	2				
13歳～15歳	8				
16歳～18歳	24				
19歳～20歳	30				
21歳～29歳	269				
30歳～39歳	376				
40歳～49歳	478				
50歳～59歳	314				
60歳～69歳	157				
70歳～79歳	74				
80歳以上	26				
不明	78				
合計	1838				

イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成26年度でかけるチーム精神保健相談

	電話相談	面接相談	家庭訪問	ケース会議	合 計
男 性	34	2	7	21	64
女 性	3	0	1	2	6
合 計	37	2	8	23	70

ウ 個別支援

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこころの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継ぎ継続支援を行っている。

平成26年度個別支援状況

1. 相談件数 (件)		5. 相談手段 (件)		9. 相談種別 (件)	
4月	70	電話相談	978	老人保健	9
5月	127	こころに來所相談	17	社会復帰	15
6月	88	訪問相談	3	アルコール	10
7月	118	合計	998	病気に關する問題	685
8月	70			心の健康づくり	41
9月	68	6. 相談業務従事者 (人)		薬物關連問題	25
10月	97	医師	0	思春期問題	22
11月	89	相談員	925	うつ・うつ状態	21
12月	54	心理職員	71	DVに關して	0
1月	67	事務職員	0	ギャンブル	5
2月	77	医師・相談員	2	その他	165
3月	73	医師・心理	0	合計	998
合計	998	医師・心理・相談員	0		
		その他	0	10. 援助の方法 (件)	
		合計	998	助言	786
2. 新規・再相談の別 (件)		7. 相談内容 (件)		關係機關紹介	120
新規相談	823	治療に關して	131	保健センターのフォロー	17
今年度新規相談	9	医療機關紹介	75	その他	75
今年度再相談	166	情報に關して	48	合計	998
合計	998	制度の問題	16		
		本人への対応	118	11. 相談区 (件)	
3. 対象者の性別 (人)		その他	610	北	41
男性	568	合計	998	都島	37
女性	423			福島	8
不明	7			此花	25
合計	998			中央	21
		8. 相談経路 (件)		西	42
4. 年齢別 (人)		保健福祉センター	24	港	22
10歳未満	3	支援課(生保)	1	大正	8
10歳～12歳	3	医療機關	28	天王寺	11
13歳～15歳	19	社会復帰施設	4	浪速	29
16歳～18歳	16	教育機關	0	西淀川	23
19歳～20歳	14	社会福祉施設	0	淀川	37
21歳～29歳	109	老人保健施設	0	東淀川	61
30歳～39歳	194	児童福祉施設	0	東成	33
40歳～49歳	200	關係団体	502	生野	46
50歳～59歳	162	その他	439	旭	32
60歳～69歳	68	合計	998	城東	22
70歳～79歳	26			鶴見	16
80歳以上	12			阿倍野	22
不明	172			住之江	32
合計	998			住吉	19
				東住吉	23
				平野	32
				西成	81
				不明	148
				市外	110
				市内だが不明	17
				合計	998

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期関連問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすく、様々な不安や葛藤等に端を発して、精神障がい（統合失調症・うつ病・摂食障がい・社交不安障がい・強迫性障がい等）を引き起こしやすいことが知られている。思春期関連問題としては、不登校、家庭内暴力、非行、摂食障がい、自傷行為、性に関する問題等があり、いずれの問題も非常に複雑であることから一筋縄の対応ではうまくいかないことが多い。また、これらの問題に加えて、近年ではインターネット依存やいじめによる自殺等も大きな問題となってきた。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成26年度 思春期関連問題相談実施状況

相談件数 (件)

	合 計
実件数	60
延件数	62

対象者の内訳 (実件数)

(人)

年齢	~12	13~15	16~18	19~20	21~	合 計
男 性	0	15	13	3	0	31
女 性	3	10	15	1	0	29
合 計	3	25	28	4	0	60

相談内容 (実件数)

(人)

年齢	~12	13~15	16~18	19~20	21~	合 計
不 登 校	2	10	7	0	0	19
ひきこもり	0	0	6	1	0	7
摂食障がい	0	0	0	0	0	0
精神疾患疑い	0	2	0	0	0	2
情緒不安定	0	0	0	0	0	0
発達障がい	0	3	6	3	0	12
そ の 他	1	10	9	0	0	20
合 計	3	25	28	4	0	60

その他、思春期関連問題について、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。

イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通死亡事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成 12 年 10 月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談(予約制)を実施している。

【平成 26 年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	19	7	26
延件数	24	7	31

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	4	14	1	0	0	19
女性	2	1	1	1	1	1	7
合計	2	5	15	2	1	1	26

相談者別 (重複あり) (人)

本人	16
配偶者	7
両親	25
兄弟・姉妹	2
その他(知人、支援者など)	23

薬物の種類 (重複あり) (人)

覚せい剤	5
大麻	5
有機溶剤	0
危険ドラッグ	16
その他(睡眠薬、抗精神薬など)	5

主な相談内容

・ 家族の対応の仕方について	・ 薬物依存症はどんな病気か
・ 薬物依存症の治療について	・ 治療につなげるにはどうしたらよいか
・ 本人への治療指導を希望	・ 退院後の処遇について
・ 断薬継続のための生活上の注意について	・ 家族間の調整
・ 地域支援に向けての処遇検討	など

ウ こころの悩み電話相談

社会が複雑になるにつれて、市民のメンタルヘルスを維持するために、気軽に利用できる相談窓口が必要とされている。このようなニーズに応じるために、平成12年4月から、こころの健康に関することなど、市民のこころの悩みに、精神科医師、臨床心理職員、精神保健福祉相談員などの専門職員が電話で相談に応じている。

開設時間：平日の午前10時～午後3時

平成26年度電話相談状況

1. 相談者 (人)		5. 対象者居住地 (件)		6. 相談内容(重複あり) (件)	
本人自身	2,014	北	35	育児上の問題	4
親	123	都島	124	家庭内の問題	267
配偶者	53	福島	16	学校についての問題	18
子供	45	此花	15	職場・仕事等の問題	79
兄弟	28	中央	24	近隣との関係	57
友人	24	西	28	性の悩み相談	20
その他	25	港	23	異性との関係	48
不明	0	大正	26	性格についての悩み	28
合計	2,312	天王寺	72	食欲の異常	5
		浪速	29	症状について	1,004
		西淀川	31	医療機関について	157
		淀川	70	病気の知識について知りたい	88
		東淀川	79	精神障害者への関わり方について	37
		東成	32	社会復帰に関して	62
		生野	48	社会資源に関して	54
		旭	23	話がしたい・話相手がほしい	517
		城東	47	人生相談	64
		鶴見	42	その他	56
		阿倍野	69	合計	2,564
		住之江	31		
		住吉	69	7. 援助方法(複数回答) (件)	
		東住吉	56	助言	851
		平野	107	他機関紹介	424
		西成	19	傾聴	952
		市内だが不明	606	その他	85
		府下	249	合計	2,312
		その他	47		
		不明	295		
		合計	2,312		
2. 相談者の性別 (人)					
男性	771				
女性	1,540				
不明	1				
合計	2,312				
3. 対象者の性別 (人)					
男性	851				
女性	1,460				
不明	1				
合計	2,312				
4. 対象者の年齢区 (人)					
10歳未満	7				
10歳～14歳	15				
15歳～19歳	38				
20歳～29歳	176				
30歳～39歳	293				
40歳～49歳	746				
50歳～59歳	541				
60歳～69歳	134				
70歳以上	99				
不明	263				
合計	2,312				

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成10年に急増し3万人を超えて以来、連続して3万人を超える状態が続いていた。平成24年は15年ぶりに3万人を下回り、平成25年、平成26年と3年連続で3万人を下回ったが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を策定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成21年4月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面3年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成(その後の補正予算で基金を積み増し、平成26年度まで延長。)し、平成26年度補正予算において同基金の対象を一部限定しつつ、新たに地域自殺対策強化交付金を設けて、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の平成26年の自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。)は24.1と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成19年11月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員による面接相談を実施している。

相談実施日 第1・第3金曜日、第2・第4木曜日(予約制)

平成26年度実施状況(平成26年4月～平成27年3月)

実人数 13名 延相談数 36件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成21年11月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的とする。

開始時は市内4区(東淀川・港・城東・住吉)で試行実施し、平成22年7月から12区(前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成)に拡充し、平成23年1月から市内全域を対象に実施している。また、平成25年1月からは、大阪府全域で実施している。

平成26年度実施状況

受理延件数 338件

ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、大阪府内の大学に在学する大学生等に研修を実施している。

ゲートキーパー養成研修

年 月 日	内 容・講 師	対 象 者	参加者数
26.7.2	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪府立大学学生	37名
26.10.23	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪経済大学学生	39名
26.11.12	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪市立大学学生	49名
26.11.20	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪市立大学学生	130名
26.11.26	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪市立大学学生	167名
26.11.27	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	四天王寺大学学生	18名
26.12.3	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	関西福祉科学大学 学生	43名

エ 自殺予防週間の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成26年9月10日（水）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前、他府内市町村主要駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市、府内市町村、大阪府自殺対策連絡協議会

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成26年9月10日（水）～平成26年9月23日（火）（24時間受付）
（9月10日（水）は午前9時から開始、9月23日（火）は午後9時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

オ 自殺対策強化月間の取り組み

「自殺対策強化月間」（3月）にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成 27 年 3 月 2 日（月）午前 8 時～ 9 時
- 2) 場 所：京橋駅前、他府内市町村主要駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市、府内市町村、大阪府自殺対策連絡協議会

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成 27 年 3 月 1 日（日）～平成 27 年 3 月 31 日（火）（24 時間受付）
（3 月 1 日（日）は午前 9 時から開始、3 月 31 日（火）は午後 9 時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう 24 時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

カ うつ病予防の普及啓発

各種パンフレット等を作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

キ うつ病の家族教室（フォローアップ編）

区ブロック開催の「うつ病の家族教室」修了者を主な対象者とし、家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室（全 4 回）を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

教室プログラム

	内 容
第 1 回	・（ミニ講座）病気について ・グループでの話し合い
第 2 回	・（ミニ講座）治療について ・グループでの話し合い
第 3 回	・（ミニ講座）社会資源について ・グループでの話し合い
第 4 回	・（ミニ講座）コミュニケーションについて ・グループでの話し合い

実施状況（平成26年11月13日～平成26年12月25日）

実人数 3名 延参加者数 7名

交流会（平成26年4月～平成27年3月）

実人数 10名 延参加者数 61名

ク 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

第12回（平成27年2月24日 大阪市役所地下1階 第8共通会議室）

- ・平成25年中における大阪市の自殺の状況
- ・平成25年と平成24年中における大阪市の自殺の状況比較
- ・自殺対策普及啓発について
- ・各所属の自殺防止対策の取り組みについて
- ・アルコール健康障害対策基本法について
- ・その他

（8）ひきこもり相談窓口事業

「ひきこもり」は様々な要因の結果として、就学や就労などの社会的参加を回避し、自宅以外での生活の場が長期にわたり失われている状態である。現在ひきこもり状態にある子どもがいる世帯は、全国で約26万世帯と推計され、大きな社会問題となっている。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成21年度よりひきこもり地域支援センターの運営を開始し、ひきこもり問題の早期発見・早期対応のため、情報把握、精神保健医療等のサービスの必要性の判断、必要な支援機関につなぐ等の支援を行い、ひきこもりの一次相談窓口や情報発信、関係機関との連携など、ひきこもりの相談を実施するとともにその推進を図っている。

また、対象者の相談内容等に応じた適切な支援を行うことができるよう、事例検討会や関係局会議を開催している。

ひきこもり電話相談 開設時間：平日の午前10時～正午
電話相談後、必要に応じ面接・訪問を行っている。

ア 平成26年度ひきこもり電話相談件数

1. 電話相談内訳

	件数	うち新規
電話相談	384	169
うち面接相談予約	27	5
うち訪問相談予約	0	0

2. 当事者の性別

性別	件数
男性	296
女性	88
不明	0
合計	384

3. 相談者の続柄内訳

続柄	件数
当事者本人	198
親	130
配偶者	0
子ども	0
兄弟姉妹	38
その他	18
合計	384

4. 当事者の年齢

年齢	件数
10歳代	37
20歳代	125
30歳代	37
40歳代	127
50歳代以上	19
不明	39
合計	384

5. 相談種別

相談内容	件数
不登校	15
精神疾患(疑)	92
発達障がい(疑)	13
暴力	6
家族の接し方	87
就労希望	50
自殺関連	25
その他	86
他都市	10

6. 支援内容

処置	件数
助言	173
他機関紹介	67
傾聴	103
面接予約	27
その他	14
合計	384

イ 平成26年度ひきこもり面接相談件数(43件)

1. 面接相談者の続柄

	件数
ひきこもり本人	9
親	35
配偶者	0
子ども	0
兄弟姉妹	4
その他	2
合計	50

2. 面接の種別

	件数
学生不登校で、ひきこもり傾向	3
精神疾患の疑い	17
発達障がいの疑い	4
社会的ひきこもり	18
家庭内暴力	0
その他	1
合計	43

3 . 面接結果

	件数
助言	24
他機関紹介	13
面接予約	4
訪問予約	1
その他	1
合 計	43

ウ 平成 26 年度ひきこもり訪問支援件数（5 件）

	10 代	20 代	30 代	40 代以上	合 計
男性	0	0	1	0	1
女性	4	0	0	0	4
合 計	4	0	1	0	5

(9) 薬物依存症者等ケア強化事業

「あいりん地域を中心とした環境整備」(5 か年計画) の一環として、平成 26 年度から大阪府と協働し、薬物依存症者等に特化した集中的な取り組みとして、(1) 専門的なケアの強化(当事者・家族支援のための専門プログラムや教室の実施・強化) (2) 専門研修の拡充(関係機関職員・医療従事者等) (3) 社会復帰支援の強化(当事者の支援体制等) を実施している。

(3) については平成 27 年度から実施予定である。

ア 家族心理教育事業

薬物関連問題(依存症) に悩む人たちを支える家族のための教室(3 回コース) を開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
26.11.5	医師の立場から「薬物依存症の臨床」 グループワーク	久米田病院 精神科医師 狩山博文	9人
26.11.21	ソーシャルワーカーの立場から 「薬物依存症の回復」 回復者の立場から 「体験談～回復の過程で感じたこと～」	京都府立大学 准教授 山野尚美 フリーダム 阪本高司	8人
26.11.28	ソーシャルワーカーの立場から 「薬物問題と家族の取り組み」 家族の立場から「家族にできること」 グループワーク「家族にできること」	京都府立大学 准教授 山野尚美 回復者のご家族	5人

イ 関係機関職員専門研修事業

薬物依存症者支援に携わる人材を育成するため、保健・福祉・司法等の関係機関職員に対して、薬物依存症者特有の問題や支援などについての研修を実施した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
27.1.26	「薬物依存症からの回復」 当事者体験談 「回復の過程で感じたこと」	京都府立大学 准教授 山野尚美 大阪ダルク 倉田智恵	141人
27.3.16	「薬物依存症の臨床」 当事者体験談 「回復の過程で感じたこと」	国立精神・神経医療センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 松本俊彦 大阪ダルク 倉田智恵	117人

(10) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。

(11) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。

ア 開催状況

全体会議	平成27年3月30日
合議体 審査	平成26年4月17日
	平成26年5月16日
	平成26年6月19日
	平成26年7月18日
	平成26年8月21日
	平成26年9月19日
	平成26年10月16日
	平成26年11月21日
	平成26年12月18日
	平成27年1月16日
	平成27年2月19日
	平成27年3月20日

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

		医療保護入院者の 入院届	医療保護入院者の 定期病状報告	措置入院者の 定期病状報告	合計
審	査 件 数	843	0	33	876
結 果	現入院形態が適当	843	0	33	876
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況

(件)

請求件数		結 果	
退 院 請 求	16	現入院形態が適当	7
		他の入院形態へ移行	0
		取り下げ等	9
処 遇 改 善 請 求	1	現処遇が適当	1
		現処遇が不適当	0
		取り下げ等	0

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認めた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

	審査件数	結 果		対象となった 病院数
		現入院形態が適当	他の入院形態へ移行	
措置入院	8	8	0	5
医療保護入院	7	7	0	5
任意入院	5	5	0	4
合 計	20	20	0	14

(12) 大阪市自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査委員会の運営(委員数5名)

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、さらに、平成25年4月1日からは執行機関の附属機関に関する条例に基づき、大阪市自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査委員会として設置している。自立支援医療費(精神通院)支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の等級判定に係る審査を行う委員会の運営を行っている。

平成26年度開催回数 23 回

2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

(1) 精神保健福祉審議会の運営(委員数 15名)

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

第20回 大阪市精神保健福祉審議会

開催日：平成27年3月31日

議 題： 「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画(案)について

(専門部会)

ア 自殺防止対策部会(委員数 10名)

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

第15回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成26年9月24日

議 題： 平成25年中における大阪市の自殺の状況及び平成25年中と平成24年中における大阪市の自殺の状況比較
大阪市の自殺防止対策事業の実施状況
平成27年度自殺防止対策事業の方向性について
その他

第16回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成27年3月20日

議 題： 平成26年度の自殺対策の実施状況について
平成27年度の自殺対策の取り組みについて
その他

(2) 措置・緊急措置診察(入院)事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察には大阪市こころの健康センター職員が立ち会って実施している。また、精神保健福祉法第23条による申請及び第24条による通報に基づいて行なわれる措置診察については当該保健福祉センター職員も立ち会っている。

措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
措置診察件数 (含む本鑑定)	9	19	19	18	8	8	12	12	12	10	12	16	155
22条申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	9	16	16	15	6	6	8	10	7	10	12	11	126
24条通報	0	3	3	2	2	2	4	2	5	0	0	5	28
26条等通報	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
措置入院件数(該当)	7	19	15	16	8	8	12	11	12	10	12	16	146
非該当件数	2	0	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	9
要入院	1	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6
要通院	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
医療不要等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
緊急措置診察件数	6	16	10	14	4	3	10	11	3	6	7	8	98
緊急措置入院件数(該当)	4	16	8	12	4	3	7	8	3	6	7	6	84
非該当件数	2	0	1	2	0	0	3	3	0	0	0	2	14
要入院	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
要通院	2	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	2	9
医療不要等	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
緊急措置入院後の措置診察件数	3	12	4	8	4	3	7	7	3	5	6	7	69

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送方法は本市の救急車により大阪市こころの健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成26年度実績 0件】

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成26年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 27,731名】

(1級 2,672名 2級 15,772名 3級 9,287名)

ア 市営交通料金福祉措置

平成9年10月から、市営の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を交付している。

(5) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定

障害者総合支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成26年度末・受給者数 52,086名】

【自立支援医療費（精神通院）公費負担額 9,028,999千円】

(6) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業

大阪市では平成14年11月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成18年4月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託をうけて、市内9か所の地域活動支援センター（生活支援型）の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

また、平成20年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成21年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

平成24年度の障害者自立支援法の改正により地域移行支援が個別給付となっている。

ア 地域移行支援の実施状況

(人)

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
退 院	13	13	10	13	18	21	19	15	14	16
退院に至らず支援中止・中断	0	2	6	1	1	2	2	2	6	10
退院に至らず支援継続	23	30	34	34	38	32	26	17	24	18
合 計	36	45	50	48	57	55	47	34	44	44

イ ピアサポーターによる啓発活動

ピアサポーターは、入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域移行支援等の利用を促進することを目的として実施している。

院内交流会は、7病院で8回実施し169名が参加した。また、地域交流会は、2回実施し、48名が参加した。

院内交流会

実 施 日	場 所	対 象 者	参加者数
26. 6.19	浅香山病院	入院患者、病院職員	21名
26. 9.18	貝塚中央病院		22名
26.10.30	こころあ病院		16名
26.11. 7	青葉丘病院		14名
26.11.20	水間病院		26名
26.11.27	吉村病院		23名
27. 2.26	阪和いずみ病院		25名
27. 3.19	浅香山病院		22名

地域交流会

実 施 日	場 所	対 象 者	参加者数
27. 2.26	地域活動支援センター (こころの相談ネットふうが)	入院患者、病院職員	20名
27. 3. 3	こころの健康センター	地域移行支援利用者、病院職員、地域支援者、ピアサポーター	28名

市民への啓発

実施日	場 所	対 象 者
26. 5. 2	西成区保健福祉センター	患者家族
26. 7. 24	天王寺区保健福祉センター	
26. 7. 24	住之江区保健福祉センター	
26. 8. 8	阿倍野区保健福祉センター	
26. 8. 26	淀川区保健福祉センター	
26. 8. 28	都島区保健福祉センター	グループワーク参加者
26. 9. 12	旭区保健福祉センター	旭こころネット会員
26. 9. 18	西区保健福祉センター	ボランティア
26. 9. 24	此花区保健福祉センター	患者家族
26.10.17	福島区保健福祉センター	ボランティア
26.10.21	城東区保健福祉センター	患者家族
26.12. 2	東淀川区保健福祉センター	ボランティア
26.12. 9	阿倍野区保健福祉センター	つどいの場参加者
26.12.11	中央区保健福祉センター	ボランティア
26.12.15	西淀川区保健福祉センター	患者家族
27. 1.15	東成区保健福祉センター	
27. 2.12	阿倍野区保健福祉センター	ボランティア
27. 2.14	生野区保健福祉センター	
27. 2.20	大正区保健福祉センター	関係機関職員

ウ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

ピアサポーター交流会

実施日	内容	場所	参加者数
26. 6.18	・「語りの冊子」の活用方法 ・これからの活動について	こころの健康センター	13名
26. 8.20	・ワールドカフェ 「病気をよくするためにやっていること」	こころの健康センター	15名
26.11.19	・啓発活動について ・情報交換	こころの健康センター	15名
27. 1.21	・新任期保健師との交流 ・地域交流会について	こころの健康センター	16名

エ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成26年度は11名修了した。

実施日	内容	講師
26. 9. 1	ピアサポートの持つ意義と役割	大阪府立大学社会福祉学部准教授 松田 博幸
26. 9. 8	リハビリについて	大阪府立大学社会福祉学部准教授 松田 博幸
26. 9.18	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山本 深雪
26.10. 3	精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動	ピアサポーター
26.10.15	語りの実際	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
26.10.27	語りの実際	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
26.11. 4	語りの効果	大阪保健福祉専門学校学科長 金 文美
26.11.10	語りの実践とその評価について	大阪保健福祉専門学校学科長 金 文美

オ 技術支援・コーディネート

内 容	訪問(件)	電話(件)
地域移行ケース相談	0	43
地域移行相談者への事前面接	17	
地域移行相談者ケースカンファレンス	24	
地域移行相談者への継続面接	11	
地域移行ケア会議	3	
病院訪問啓発活動及び連絡調整	13	40
病院啓発講座	7	
合 計	75	83

カ 相談支援事業所への研修

障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センター(生活支援型)と協力し、相談支援事業所に研修を行った。

実 施 日	内 容	講 師	参加者数
26. 7.11	・精神保健福祉法の改正	こころの健康センター	24名
27. 2.20	・地域移行支援のいま	地域活動支援センター(生活支援型)・ピアサポーター こころの健康センター	45名

キ 地域生活移行支援会議

実 施 日	内 容	場 所	参加者数
26. 4.24	・これからの会議の持ち方について	ふうが (地域活動支援センター)	15名
26. 6.26	・基幹相談支援センターとの研修 ・ピアサポート活動の情報共有	“COCOLO” 相談支援センター (地域活動支援センター)	14名
26. 8.28	・地域移行中断ケースの検討 ・支援会議終了後について	アクセス (地域活動支援センター)	14名

ク 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議におけるワーキンググループ会議

実施日	内容	場所	参加者数
26.12.22	・これからの会議の持ち方について	こころの健康センター	9名
27. 1.30	・生活保護担当との連携について ・長期入院者への対応	こころの健康センター	8名
27. 2.27	・長期入院者の面接状況 ・地域移行支援の流れについて	こころの健康センター	7名
27. 3. 5	・地域移行支援の課題について	こころの健康センター	6名
27. 3.19	・次年度ワーキンググループ会議 について	こころの健康センター	5名

ケ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会

精神障がい者の地域移行支援を効果的に実施し、精神障がい者の社会的入院解消を推進するため、業務の検討を行う。

実施日：平成 26 年 8 月 1 日

議 題： 平成 25 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
平成 26 年度 こころの健康センターの取り組み
平成 25 年度 精神科在院患者調査報告（速報）
第 4 期大阪市障がい福祉計画（案）進捗状況について

実施日：平成 27 年 3 月 16 日

議 題： 平成 26 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
平成 27 年度 こころの健康センターの取り組み
平成 25 年度 精神科在院患者調査報告
第 4 期大阪市障がい福祉計画について

(7) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心神喪失者等医療観察法が平成 17 年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成 17 年 7 月から 26 年度末までの対象者は 73 名で、平成 26 年度末までに医療観察処遇終了者は 46 名となっている。

ア 平成 26 年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 : 27 名

処遇内訳:入院処遇対象者 12 名 通院処遇対象者 15 名

疾病別 :統合失調症 17 名 アルコール依存症 2 名

覚醒剤後遺症 2 名 妄想性障がい 2 名

双極性感情障がい 2 名 その他 2 名

ケア会議出席:170回

イ 医療観察法関係研修

実施日:平成26年5月29日

テーマ:医療観察法事例より学ぶ

講師:大阪保護観察所 社会復帰調整官

対象:精神保健福祉相談員

参加者:36名

(8) 精神科救急医療体制整備事業

ア こころの救急相談の設置 (電話相談)

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談 (9月9日より「おおさか精神科救急ダイヤル」と名称変更。平成27年度より夜間・休日に時間帯変更。)」を平成14年7月29日に開設し、精神障がい者及び家族等からの様々な緊急的な相談に対して、精神保健福祉士等の専門相談員が当該精神障がい者や家族等の不安感などの緩和が図れるよう適切に対応するとともに、必要に応じて精神科救急病院の情報提供を行っている。また、相談内容で医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応している。

平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）こころの救急相談実施状況

（大阪府下全域の合計件数）

(1) 相談利用

種別	件数(件)	割合(%)
新規	7,199	22.1
継続	24,248	74.3
不明	1,177	3.6
合計	32,624	100.0

(2) 利用者

種別	件数(件)	割合(%)
本人	28,062	86.0
家族	3,247	10.0
その他	1,315	4.0
合計	32,624	100.0

(3) 性別

種別	件数(件)	割合(%)
男	11,270	34.6
女	21,343	65.4
不明	11	0.0
合計	32,624	100.0

(4) 地域

種別	件数(件)	割合(%)
大阪市内	10,588	32.4
府域	17,775	54.5
他府県	426	1.3
不明	3835	11.8
合計	32,624	100.0

(5) 年齢

種別	件数(件)	割合(%)
10歳未満	0	0
10歳代	118	0.4
20歳代	983	3.0
30歳代	5,617	17.2
40歳代	9,198	28.2
50歳代	5,755	17.6
60歳代	2,183	6.7
70歳代	314	1.0
80歳代以上	160	0.5
不明	8,296	25.4
合計	32,624	100.0

(6) 相談内容（複数有り）

結果	件数(件)	割合(%)
医療機関	18,864	52.9
福祉関係	386	1.1
その他	16,429	46.0
合計	35,679	100.0

イ 精神科救急医療情報センターの設置

「こころの救急相談」で相談を受けたあと、精神科救急医療情報センターの看護師や精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで外来対応可能と判断された場合に、大阪市こころの健康センターにおいて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時
日曜日・休日 10時から16時

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時，土曜日・休日 9時から翌朝9時

確保病床件数及び受診件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
病床確保数	2,553	2,948	3,290	1,969	1,341	1,502	2,190	2,857	2,928	3,023	3,016
入院件数	2,164	1,893	1,395	1,297	1,227	1,346	1,361	1,379	1,518	1,309	1,367
外来受診件数	1,048	605	527	481	373	458	445	436	397	384	327
合計	3,212	2,498	1,922	1,778	1,600	1,804	1,806	1,815	1,915	1,693	1,696

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムに参画し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院確保している。

身体合併症受入病院(11病院)

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪府立急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学附属滝井病院・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

身体合併症患者の受入件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

病院名	精神科 病床数	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
北野病院	20	4	1	1	3	1	1	0	0	1	0	0
大阪大学医学部附属病院	52	1	0	3	1	4	1	1	1	0	2	2
大阪府立急性期・総合医療センター	34	29	23	21	23	36	92	108	111	102	86	83
大阪市立大学医学部附属病院	40	1	4	4	2	7	3	5	6	5	1	4
藍野病院	600	91	89	77	57	75	127	74	74	73	78	70
関西医科大学附属滝井病院	39	3	3	2	6	3	2	3	4	10	9	5
東香里病院	173	25	16	31	25	29	21	16	18	5	17	6
浅香山病院	948	50	51	65	63	54	61	41	45	37	37	33
大阪医科大学附属病院	60	10	5	5	15	10	9	6	8	9	9	19
大阪市立総合医療センター	55	3	6	9	9	3	8	7	9	22	24	33
大阪赤十字病院	42	10	12	5	8	7	9	4	2	5	2	4
合計	2,063	227	210	223	212	229	334	265	278	269	265	259

病床数は平成27年3月31日現在の数である。

おおさか精神科救急情報センター 平成26年度（平成26年4月～27年3月）実績報告

1. 対応件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総件数	277	306	276	277	253	248	271	249	249	249	197	253	3,105

2. 相談経路

	件数
救急隊	850
こころの救急相談より転送	1,048
警察	1,057
その他	150
合計	3,105

3. 発生地域

	件数
大阪府	1,605
大阪市	1,292
堺市	206
府外発生対象外	0
不明	2
合計	3,105

4. 対象者性別

	件数
男性	1,444
女性	1,619
不明	42
合計	3,105

5. 対応医療機関件数

(件)

浅香山	8
小曽根	5
こころあ(もと貝塚サナ)	28
貝塚中央	69
木 島	113
久米田	162
京 阪	38
光 愛	5
国 分	155
阪 本	38
さ わ	327
汐の宮温泉	150
七 山	117
ねや川サナトリウム	27
阪 南	316
水 間	13
浜 寺	59
精神医療センター	7
茨 木	9
新阿武山	42
大阪さやま	22
八尾こころのホスピタル	9
関西サナトリウム	15
丹比荘	42
阪奈サナトリウム	18
ほくとクリニック	190
関西記念	26
吉 村	23
オレンジホスピタル	5
小 阪	6
榎 坂	4
新生会	4
合 計	2,052

6. 時間帯別入電件数

(件)

0:00~0:59	146
1:00~1:59	129
2:00~2:59	109
3:00~3:59	81
4:00~4:59	60
5:00~5:59	55
6:00~6:59	38
7:00~7:59	45
8:00~8:59	1
9:00~9:59	110
10:00~10:59	97
11:00~11:59	62
12:00~12:59	90
13:00~13:59	88
14:00~14:59	77
15:00~15:59	85
16:00~16:59	85
17:00~17:59	333
18:00~18:59	268
19:00~19:59	272
20:00~20:59	262
21:00~21:59	252
22:00~22:59	172
23:00~23:59	188
合 計	3,105

(9) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

第 3 資 料

1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日(火) 於;大阪コクサイホテル

審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日(金) 於;大阪第一ホテル

審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・(仮称)大阪市障害者支援プランについて

報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日(金) 於;大阪市役所

審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日(火) 於;大阪市役所

審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「(仮称)大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日(木) 於;こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ

(案)」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日(木) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・大阪府域の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日(金) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・(仮称)大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日(金) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算(案)の概要について

第9回 平成17年3月28日(月) 於；大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について(報告)
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について(報告)
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算(案)の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会の開催状況について」
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算(案)の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日(水) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日(月) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針(案)」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について

- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年 1月21日(木) 於；こころの健康センター
審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年 3月26日(金) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年 3月14日(月) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年 3月29日(木) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年 3月26日(火) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

第20回 平成27年3月31日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画(案)について

2 精神医療審査会

(1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況(過去10年間) (回)

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
審	査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合	議	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	体										

イ 入院届の審査状況(過去10年間) (件)

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
入	院	122	159	199	392	573	590	670	664	672	843
結	果										
	現入院形態が適当	122	159	199	392	573	590	670	664	672	843
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況(過去10年間) (件)

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
定	期	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
結	果										
	現入院形態が適当	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） （件）

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
定期病状報告		26	22	31	16	29	21	17	24	39	33
結果	現入院形態が適当	26	22	31	16	29	21	17	24	39	33
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オ 退院請求の審査状況（過去10年間） （件）

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
退院請求		25	12	5	10	13	14	19	11	16	16
結果	現入院形態が適当	9	6	1	4	4	4	6	2	2	7
	他の入院形態へ移行	4	0	0	1	0	0	2	1	5	0
	取り下げ等	12	6	4	5	9	10	11	8	9	9

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間） （件）

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
処遇改善請求		3	0	0	0	2	1	3	4	5	1
結果	処遇が適当	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
	処遇が適当でない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取り下げ等	3	0	0	0	2	0	2	3	4	0

(2) 実地審査状況（過去10年間） （件）

		年度									
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
審査件数		23	19	10	22	16	17	21	26	24	20
結果	現入院形態が適当	22	19	10	22	16	17	21	26	24	20
	他の入院形態へ移行	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

（件）

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
申請・通報件数	148	166	182	197	199	246	290	294	302	373
22条申請	4	1	3	3	2	0	1	0	0	0
診察せず・取下げ他	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
措置診察件数	4	1	2	3	1	0	0	0	0	0
措置入院件数	4	1	2	3	1	0	0	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	124	119	97	94	99	127	134	133	121	135
診察せず・取下げ他	21	28	32	37	32	49	59	79	80	90
措置診察件数	103	91	65	57	67	78	75	54	41	45
措置入院件数	60	57	57	51	57	73	73	50	39	43
非該当件数	43	10	8	6	10	5	2	4	2	2
24条通報	15	15	24	41	30	31	31	43	36	41
診察せず・取下げ他	2	2	12	17	12	12	2	7	12	13
措置診察件数	13	13	12	24	18	19	29	36	24	28
措置入院件数	6	11	9	21	11	14	24	34	19	28
非該当件数	7	7	3	3	7	5	5	2	5	0
25条の2、26条通報	5	31	70	59	68	88	125	118	145	197
診察せず・取下げ他	2	31	68	58	68	87	124	116	143	196
措置診察件数	3	0	2	1	0	1	1	2	2	1
措置入院件数	1	0	2	1	0	1	1	2	2	1
非該当件数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急措置診察件数	148	160	194	150	138	135	110	122	104	98
緊急措置入院件数	125	132	159	121	125	114	93	110	90	84
本鑑定実施せず他	31	37	19	5	14	17	6	11	7	3
本鑑定件数	94	95	140	116	111	97	87	99	83	81
該当件数	74	91	100	102	91	81	75	87	75	74
非該当件数	20	20	40	14	20	16	12	12	8	7
非該当件数	23	28	35	29	13	21	16	12	14	13

同年度において「緊急措置入院件数＝本鑑定実施せず＋本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（平成26年9月末日現在） 病院・指定・病床数同じ

	病 院 数	指定病院数	精神科病床
大 阪 市 内	6病院	4病院	241床
堺 市 内	6病院	4病院	2,919床
大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く)	49病院	34病院	16,329床
合 計	61病院	42病院	19,489床

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成26年9月末日現在）

		病 院 名	精神科病床
大 阪 市 内	指 定 病 院	大阪府立急性期・総合医療センター	34床
		大阪市立総合医療センター	55床
		大阪市立大学医学部附属病院	38床
		ほくとクリニック病院	50床
	そ の 他	北野病院	12床
		大阪赤十字病院	42床
合 計			231床

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

（人）

年度		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
等 級	1 級	2,041	2,048	2,134	2,215	2,376	2,547	2,668	2,722	2,733	2,672
	2 級	7,139	7,710	8,606	9,659	10,775	11,961	13,354	14,313	15,016	15,772
	3 級	2,626	2,759	3,029	3,512	4,200	4,814	5,337	6,361	7,737	9,287
交付数 計		11,806	12,517	13,769	15,386	17,351	19,322	21,359	23,396	25,486	27,731

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(26年度末現在) (人)

区	等級	1級	2級	3級	計
北		50	388	305	743
都島		85	522	318	925
福島		43	200	107	350
此花		75	355	239	649
中央		44	288	201	533
西		52	265	197	514
港		75	450	292	837
大正		72	455	238	765
天王寺		49	259	168	476
浪速		68	398	313	779
西淀川		69	394	283	746
淀川		167	912	413	1,492
東淀川		173	1,338	614	2,125
東成		70	485	248	803
生野		156	801	429	1,386
旭		138	578	310	1,026
城東		138	883	454	1,475
鶴見		88	561	254	903
阿倍野		89	539	300	928
住之江		115	706	461	1,282
住吉		199	1,101	685	1,985
東住吉		163	975	545	1,683
平野		305	1,584	926	2,815
西成		189	1,335	987	2,511
合計		2,672	15,772	9,287	27,731

7 自立支援医療費(精神通院)受給者数

(26年度末現在)(人)

区	受給者数
北	1,699
都島	1,750
福島	866
此花	1,228
中央	1,162
西	1,042
港	1,554
大正	1,404
天王寺	1,101
浪速	1,406
西淀川	1,506
淀川	3,258
東淀川	4,300
東成	1,538
生野	2,682
旭	1,974
城東	2,958
鶴見	1,764
阿倍野	1,762
住之江	2,321
住吉	3,659
東住吉	2,876
平野	4,631
西成	3,645
合計	52,086

6 自立支援医療費(精神通院)受給者数状況(過去10年間)

(人)

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
受給者数	33,159	32,529	32,126	35,056	37,842	41,313	43,878	46,918	49,419	52,086

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成26年度実績)(人)

	面接相談		電話相談	訪問指導		精神保健福祉相談 合計 (+ +)
	実人員	延人員	延人員	実人員	延人員	
北	227	944	1,579	78	222	2,745
都 島	190	874	836	84	147	1,857
福 島	150	835	417	82	287	1,539
此 花	123	330	559	46	105	994
中 央	139	766	848	72	155	1,769
西	137	540	224	48	151	915
港	226	808	608	44	207	1,623
大 正	333	1,387	1,203	94	203	2,793
天 王 寺	136	804	670	58	168	1,642
浪 速	166	507	344	65	194	1,045
西 淀 川	127	594	504	22	75	1,173
淀 川	260	1,597	1,621	74	242	3,460
東 淀 川	413	1,147	1,037	126	381	2,565
東 成	166	500	616	62	184	1,300
生 野	223	1,046	443	83	175	1,664
旭	132	381	477	50	103	961
城 東	167	514	658	42	179	1,351
鶴 見	127	472	442	54	192	1,106
阿 倍 野	171	938	417	60	118	1,473
住 之 江	154	558	818	60	144	1,520
住 吉	255	951	497	99	180	1,628
東 住 吉	384	1,859	1,128	119	267	3,254
平 野	307	1,710	2,196	119	335	4,241
西 成	575	1,761	2,024	201	458	4,243
西 成 分 館	3	6		0	0	6
合 計	5,291	21,829	20,166	1,842	4,872	46,867

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成26年度実績)

	一般クリニック		
	回数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	23	37	62
都 島	30	51	78
福 島	36	50	88
此 花	16	23	28
中 央	22	38	52
西	23	48	54
港	31	47	70
大 正	39	101	128
天 王 寺	19	33	46
浪 速	24	40	56
西 淀 川	19	43	50
淀 川	40	78	85
東 淀 川	43	71	96
東 成	30	52	74
生 野	19	56	71
旭	22	40	43
城 東	43	41	75
鶴 見	25	39	51
阿 倍 野	33	43	72
住 之 江	19	43	52
住 吉	30	68	94
東 住 吉	39	75	99
平 野	30	53	73
西 成	43	36	99
西 成 分 館	2	3	3
合 計	700	1,209	1,699

10 保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況

(平成26年度実績)

	グループワーク					酒害教室				
	回数 (回)	実人員 (人)		延人員 (人)		回数 (回)	実人員 (人)		延人員 (人)	
		男	女	男	女		男	女	男	女
北						24	29	13	119	36
都 島	47	8	15	245	195					
福 島	47	12	14	199	223					
此 花										
中 央	47	10	9	202	73					
西						10	32	9	89	15
港						11	27	21	90	45
大 正						12	31	10	103	36
天 王 寺	47	12	12	245	251					
浪 速										
西 淀 川						23	25	13	149	53
淀 川	44	15	8	306	208					
東 淀 川						12	44	23	162	55
東 成										
生 野						22	36	15	273	48
旭										
城 東										
鶴 見						11	27	8	67	13
阿 倍 野						11	36	8	160	36
住 之 江										
住 吉	47	11	11	211	220					
東 住 吉	45	12	12	280	250	23	33	22	238	62
平 野						12	34	17	145	76
西 成						24	53	8	335	52
西 成 分 館										
合 計	324	80	81	1,688	1,420	195	407	167	1,930	527

大阪市こころの健康センター所報
(平成26年度)

発行 大阪市こころの健康センター
〒534-0027
大阪市都島区中野町5丁目15番21号
都島センタービル3階
電話 06-6922-8520